

「学びに向かう指標」坂井スタンダード～7つの習慣～（案）

作成日： 2022/10/5

	自主(人間力向上のために)			協働(社会の一員となるために)			創造(基礎となる知識・技術の習得)		
	授業	清掃	挨拶		グループ活動	特活・行事	GTZ	資格・検定	
	学ぼうとする力	貢献する力	礼節の力		助け合う力	ともにつくる力	基礎学力	必要な技術・技能	
A	自主的にできている	その日に学習することをあらかじめ知り、考えながら授業に参加することができる。	自分で考えて掃除を進められ、担当箇所を美しくできる。	誰に対しても、自分の方から適切な挨拶をすることができる。	周囲のことも意識してできている	どんなグループにおいてもコミュニケーションがとれ、意見を出し合いながら課題の解決を図ろうとする。	主体的に活動に関わり、仲間とともに最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テスト A1～B3以上	高いレベルのものに積極的に取り組み、難関に合格した。
坂井高校生としての目標を十分達成しており、さらなる広がりがみられる（応用）									
B	与えられたことはできている	授業に参加して、与えられた課題について考えることができる。	決められたことはこなすことができる。	誰に対しても、適切な挨拶をすることができる。	与えられたことはできている	特定の人とはコミュニケーションがとれ、課題の解決を図ろうとする。	仲間とともに、最後まで役割を果たすことができる。	基礎力診断テスト C1+～C3以上	コースで標準とされているものを取得できた。
坂井高校生として卒業までに最低限身に着けたい力が身についている（標準）									
C	やる気はあるができていないこともある	授業に参加して、言われたことだけは、することができる。	教員が見ているときだけは、取り組むことができる。	場面によっては、挨拶をすることができる。	やる気はあるができていないこともある	他者とうまく協力することはできないが、自分の役割は果たすことができる。	その場には参加しており、言われたことだけを実行する。	基礎力診断テスト D2～D1+	コースで勧められたものに合格もしたが、不合格の方が多かった。
坂井高校生としての目標をあと少しで達成できそうである（基礎）									
D	やらないことが当たり前になっている	何も取り組まなかったり、私語をしたりして、学びの妨げになる。	注意されることが多く、やらないことが当たり前になっている。	挨拶をされても、返さない。無視することがある。	やらないことが当たり前になっている	話し合いに関心が持たず、コミュニケーションをとることをせずに結論が出るのを待つ。関係のない話をする。	その場にはいないこともあり、活動や作業には参加しない。寝ていたり私語をしたりして時間を潰す。	基礎力診断テスト D3～D3+	受験を放棄したり、受験したものに、ほとんど合格することができなかったりした。
坂井高校生としての目標を達成するにはさらなる努力が必要である（要努力）									

1年企業研修

訪問日時 R4~R5 学校発13:00 (2H研修)	参加 クラス	訪問研修先企業名	生徒 参加人数	備考
7/12 (火) 8:40~11:50	1B	一般社団法人DMOさかい観光局 三国観光ホテル	24	
9/6 (火)	1M	前田工織 (株)	32	
10/25 (火)	1V	(株) アイシン福井	17	クラスの1/2 2Vと同日
11/1 (火)	1V	(株) アイシン福井	16	クラスの1/2
11/4 (金)	1A	(株) フィールドワークス	28	
11/7 (月)	1E	北陸電力 (株)	30	2Fと同日
11/8 (火)	1S	福井鋸螺 (株) 加賀工場	33	
11/14 (月) 13:20発	1F	(有) 谷口物産	33	実習着
1/27 (金)	1L	(株) ローズガーデン/幸三郎ウェディング	33	

2年企業研修

訪問日時 R4~R5 学校発着	参加 クラス	訪問研修企業名 (専門)	生徒 参加人数	備考
9/30 (金) 9:45~15:30	2M	(株) エイチアンドエフ 北陸電力 (株)	33	
10/25 (火) 9:40~15:30	2V	(株) UACJ 光生アルミニウム工業 (株)	32	1Vと同日 実習着
10/27 (木) 9:40~15:50	2S	前田工織 (株) (株) 福井村田製作所	33	2Eグローバル研 修と同日
10/28 (金) 9:40~15:40	2E	(株) UACJ 北陸電力 (株)	27	
11/2 (水) 9:45~15:10	2A	三ツ星 (株) 前田工織 (株)	32	
11/7 (月) 9:40~16:10	2F	グランディア芳泉 安田蒲鉾 (株)	30	1Eと同日 実習着
11/15 (火) 8:40 道の駅発12:00学 校着15:30	2B	大野城 道の駅おの (課題学習) カインズ (株)	31	
1/26 (木) 9:20~16:30	2L	(株) ローズガーデン/幸三郎ウェディング タケフナイフビレッジ	32	体験あり

実施日	教室	出前研修企業名 (専門と専門外を受講)
R5 2/1 (水)	1A	田中農園 (株)
	1F	(株) 米五
	1M	福井鋸螺 (株)
	1V	(株) UACJ
	1E	北陸電力 (株)
	1S	三谷商事 (株)
	1B	福井県観光連盟観光 地域づくりマネージャー
	1L	仁愛女子短期大学 (保育)

実施日	参加 クラス	グローバル研修 (コースで計画)	生徒 参加人数
	2A	合同会社ながの農園 (株) 和郷	32
	2F	(株) シャトレーゼ白洲工場 (株) モンテール岐阜	30
	2M	ジェイ・バス (株)	33
	2V	ジェイ・バス (株)	32
10/27 (木) 7:15出発 17:20帰校	2E	北陸電力 (株) 本社 電線マン見学	27
	2S	(株) 富士通ITプロダクツ (株) 小松製作所	33
	2B	(株) エイチアンドエフ ユニフォームネクスト (株)	31
	2L	YUMI KATSURA MUSEUM・若狭工房	32

E、L以外修学旅行中にANAの工場はじめ、沖縄の企業訪問に変えることも検討

福井県立坂井高等学校 マイスター・ハイスクール事業
令和4年度 企業訪問研修 趣意書

1 目的

研究主眼である「地域の課題と地元企業の価値を理解し、持続可能な次世代の地域産業を担う人材の育成」を具現化するため

2 観点

「ふくい産業」の技に触れ、

- (1) 自ら学ぶ専門分野が実社会でどのように生きているか、また生かされそうかを考察する。
- (2) DX やオウナーワン技術、ビジネスモデル等に触れ、その利便性・効率性・地域への貢献度（SDGs や ESG 等）についての認識を深めるとともに、未来へのさらなる発展の方向について学ぶ。
- (3) 企業理念について学び、今後の企業の在り方について考える。
- (4) 企業が抱えている課題について学び、問題点を考え、3年次の課題研究に資する。
- (5) 学びを踏まえ、自分の思い・考えを企業に伝える。

3 対象

農業2コース、工業4コース、商業1コース、家庭1コース
合計8コースの1・2年生 497人

4 実施時期

令和4年9月～令和5年1月

5 実施方法

- 1年生 … 自ら学ぶ専門分野の関連企業を訪問
見学と講義を合わせて2時間程度
- 2年生 … 自ら学ぶ専門分野の関連企業と関連外企業
計2社を1日で訪問
各社、見学と講義を合わせて2時間程度

MH 企業研修

研修先		研修日		年	月	日
		クラス	番号	氏名		

★次の点を意識し、研修に参加しよう！ -印象に残ったことや大切だと感じたことなどをメモしよう
質問事項としても使ってください。

①学びとのつながり - 企業が取り組んでいることは、自分が学んでいることと、どのようにつながっているだろう？-

②企業の技と未来 - 企業の誇れる技は？ そして、それは今後どうなっていくだろう？-

③企業の取り組み - SDGsや社会貢献等、社会や地域において企業が果たす役割には何があるだろう？-

④企業が抱える課題 - 企業は何を問題と捉えているだろう？-

⑤企業の理念 - 企業が大切にしていることは何だろう？-

★研修終了後、裏の振り返りを記入し、担当の先生に提出しよう

★研修を振り返り、あてはまる○に✓を入れてください。

(項目の内容にふれられていないと思ったら、飛ばしてください。)

①	<p>今回の研修に自分が普段学んでいることとのつながりを見つけながら参加できましたか？</p> <p>○できた ○どちらともいえない ○できなかった</p>
②	<p>企業の特徴や、最先端の技術などを理解することができましたか？</p> <p>○よく理解できた ○理解できた ○どちらともいえない ○あまり理解できなかった ○理解できなかった</p>
③	<p>企業の社会や地域における役割について理解することができましたか？</p> <p>○よく理解できた ○理解できた ○どちらともいえない ○あまり理解できなかった ○理解できなかった</p>
④	<p>企業が抱えている課題を理解することができましたか？</p> <p>○よく理解できた ○理解できた ○どちらともいえない ○あまり理解できなかった ○理解できなかった</p>
⑤	<p>企業の理念や、大切にしていることを理解することができましたか？</p> <p>○よく理解できた ○理解できた ○どちらともいえない ○あまり理解できなかった ○理解できなかった</p>
⑥	<p>今回の研修を終えて、何か新しい発見や気づきはありましたか。</p> <p>○あった ○なかった</p>
⑦	<p>今回の研修は満足の内々ものでしたか。</p> <p>○大変満足 ○満足 ○どちらともいえない ○やや不満足 ○不満足</p> <p>その理由を書いてください。</p>
⑧	<p>研修を終えて(印象に残ったことや言葉、疑問点、新たな発見など、具体的に書いてください。)</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>

R 4 . 9 . 6 1 - M 前田工織 (株) 訪問の生徒の声

すべての生徒がよく学んでいると感じられます。

- 環境のことを考えていく工業はすごい
- あらゆる分野のものを作って地域に貢献している
- 繊維だけではない。土木資材、建築資材、タイヤのホイール
- 落石対策など、社会に役立っているものが、こんな身近で作られている
- 自分の将来を見据えることができた
- 震災に貢献している。男女平等である
- 製品の数がすごく多い
- オンリーワン技術
- 機械が人間のように動いている。前田工織には行ってもいい
- 福井県にこんなすごい工場があり、嬉しく思った
- 網袋の強度が強い。12トンの重さに耐えられる。
- 今後の未来はロボットが手伝ってくれる
- 企業理念「SSLQDC」生きてきた中で、目に入るもののいくつかが前田工織で作られている
- 外部の需要に応じて製品を作っている。大変そうだが、自分も頑張りたい
- 自動で動く機械が心に残った
- 「人と人とのつながりを持ち、それを目標とする」が、企業の基本理念
- 世界にはこんなにすごい製品があるんだと思った
- Safety,Society,Law,Quality,Delivery,Cost
- 円安が今、注視していること
- 将来工場に入りたいと思っているので、この2時間はとてもいい経験
- 見学して、働くことの大切さや楽しさを知った。将来を決める幅が広がった
- 繊維だけではない。海外ともつながっているすごい会社



「マイスター・ハイスクール事業」における 各コースの取り組み

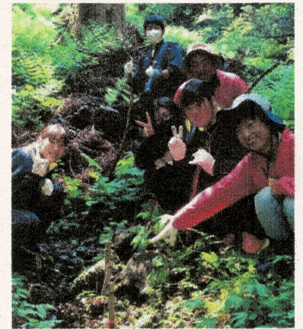
昨年度に引き続き、今年度も活動内容について定期的に配信していきます。今回は、以下の内容でお届けします。

- ① 1年目の活動振り返り
- ② 2年目の研究方針について

■ 農業コース

① 竹田文化共栄会森づくりこども会議との連携ではじめて自生地へエチゼンダイモンジソウを移植することに成功。保全区を校内に設置。アゼオトギリの苗を作成し、板倉みどりクラブと連携。

② 竹田文化共栄会森づくり会議との連携を強化。保全区に自生地を再現するための水循環装置を開発。アゼオトギリの訪花昆虫を調べ、確実な苗作りの方法の確立。



エチゼンダイモンジソウの状況確認

■ 食品コース

① 坂井市と連携し、地域の特産品開発と食品ロスを掛け合わせた商品開発。トマトやイチゴなどの規格外品を利用した商品を開発し、坂高マルシェで販売した。地酒「淵龍」再興プロジェクトにて製造時に出る酒粕を活用した商品を開発。イベントで販売。

② 1年目に開発した商品に付加価値を持たせるべく、栄養素を高めた商品開発や、成分検査を行っていく。福井県民生協様の施設を見学し、衛生面の向上に向け、HACCPに関する取り組みを昇華させる。



地酒（淵龍）の酒粕を活用した開発加工品のお披露目・販売会

■ ビジネスコース

① ECサイト「坂井高校 SHOP」を構築して、農業コースの栽培した安納芋を使った和洋菓子を㈱五月ヶ瀬様に提案し、贈答用菓子セット「よつばのおくりもの」を予約販売した。地元観光資源を調査して動画編集を行い、ふるさとCM コンテスト入賞につなげた。

② 坂井市に修学旅行で訪れる首都圏の中学校と地域振興の協働学習を行う。旅行代理店を通じてシニア層向けのふるさと納税返礼品を商品化。また、食農科学科との学科間連携を行い、本校産の農作物や加工品の販売促進活動を行う。



五月ヶ瀬試食

■ 生活デザインコース

① 坂井市からの依頼で、「ふくい甘えび」を活用した「Sea 級グルメ」のレシピ開発。開発したメニューの試食会を市役所で行った。

② 坂井市との連携を継続。昨年度中止された「Sea 級グルメ」の全国大会に向け、レシピの改良。各種イベント等での披露を通して、坂井市を代表するグルメを作る。



試食会で披露されたレシピ

「マイスター・ハイスクール事業」文部科学省指定校

生徒がDXを中心とする次世代の産業人に育つために、知見を広げ地域企業人としていかに生きていくかを学び、考えるパイロットプログラムです。

地域のみなさまへ

お気付きの点をお聞かせください!

坂井高校マイスター事務局
TEL:0776-66-0268
FAX:0776-66-2669

坂井高校 HP

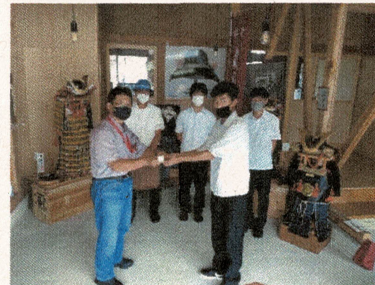


Vol. **06**
2022.8.1

■ 機械コース

① NPO 法人今庄旅籠塾様と連携し、お菓자에印を付けるための焼き印を製作した。打ち合わせを重ね、利用者様が使いやすくなるよう、一般的な炙るものではなく、半田ごてを流用した焼き印を製作し納品した。

② 「丸岡城天守を国宝にする市民の会 城小屋マルコ」様から焼き印製作の依頼があり、打ち合わせを行いながら製作を進めていく。その他にも、新聞を閲覧する書見台を作成。地域に還元していくことを念頭に取り組んでいく。

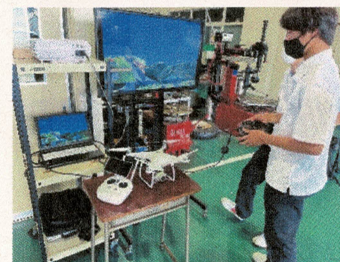


完成した焼き印の納品

■ 自動車コース

① 普及が進むドローンについて、適切な知識と技量の習得のため、「国土交通省ドローン情報基盤システム」の申請基準に達する、坂井高校独自の操作技術講習会を実施。

② 国土交通省無人航空機飛行許可申請が出来る人材育成を目指す。ドローンの操縦、気象、電波に関する筆記試験・操縦技能試験等を実施する。



ドローン操作の練習

■ 電気コース

① 芦原温泉にある「芦湯」にある2つの源泉の温泉熱ポテンシャルを計測した。両源泉とも、熱交換機やヒートポンプとしての利用が可能なポテンシャルであった。ベルテクス社様と情報交換を行った。

② 購入したペルチェ素子やスターリングエンジンにより、実験回路を作成し芦湯に設置することにより実際のデータを収集する。スマホ充電用の装置やLEDを用いた照明器具の構成と現地における設置を実現する。

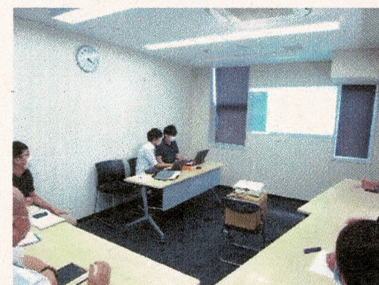


ペルチェ素子による発電実験

■ 情報システムコース

① 坂井市役所内で利用できるコミュニケーションツールを開発・納入した。

② 情報システムコース・ICHIGOOOJI(いちご王子)・株式会社 Root が連携して、スマート農園システムを見据える。その一環として株式会社 Root の技術指導で、農業の在庫管理システムを開発する。

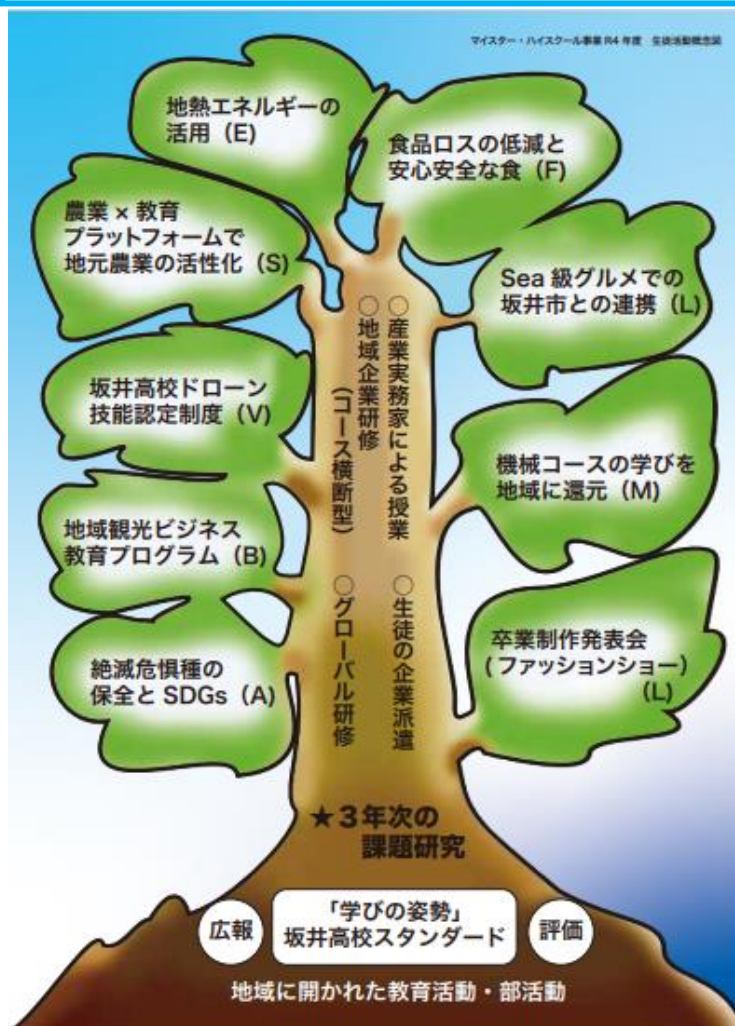
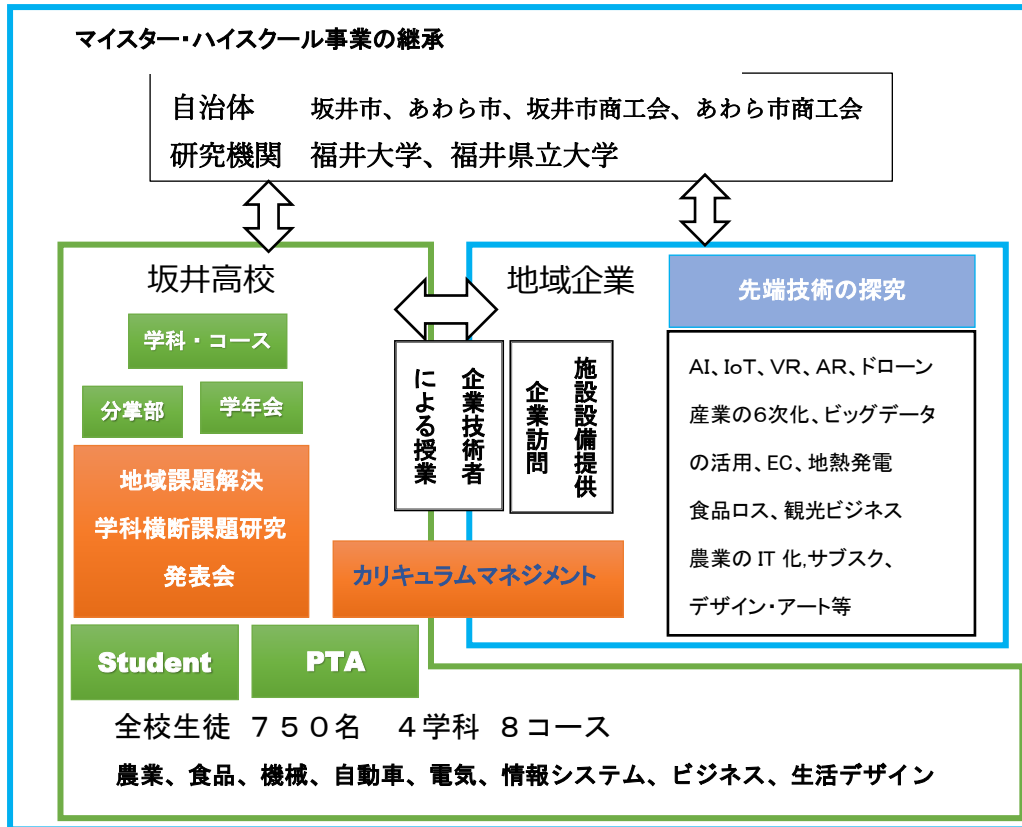


坂井市役所でのアプリ実演

6月22日(水) 課題研究交流会を開催しました

他コースの生徒の研究内容等を知り、自分の研究に活かすことを狙いとして、今年度初めて実施しました！見学時間は1時間しか確保できませんでしたが、『大変貴重な経験になった』という声が多数聞こえてきました。普段は感じられない他のコースからの刺激を、これからの課題研究での取り組みに活かされるのを楽しみにしています。次号でさらに詳しく取り上げる予定をしていますから、乞うご期待ください。p

Consortium 構想 (案)



Consortium 構想は、生徒の資質を高め、Well-being を追求するために、企業と学校が共に手を携えて学びを構築しようというものです。それは、学校並びに企業を伸ばすことにも繋がります。さらに企業と学校の協働は、地域を豊かにするものだと考えております。

協働してくださる企業を集い、意見を出し合っ、生徒とともに学ぶ環境を創っていきたい。

将来、企業に入って、企業を愛し、地域を支えてくれるのは坂井高校の生徒です。その観点に立って、将来の「ふくい産業」を俯瞰でき、豊かな知力を持つ生徒の育成をめざしていきます。

「坂井高校マイスターコンソーシアム」設立趣意書（案）

現在、第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション（DX）等によって産業構造や企業における仕事の内容が急速に革新しているなかで、地域産業の人材育成の核となる専門高校には、社会の絶え間ない変化に対応できるデジタル新時代の職業人材の育成とその教育システムの構築が求められています。

このような背景のもと、本校は文部科学省からマイスター・ハイスクール事業（次世代地域産業人材育成刷新事業）（R3～R5）の採択を受けて様々な活動を行ってきました。

具体的には、

- ・学校設定教科「ふくいの産業」による地域産業の理解・探究
- ・産業実務家による授業
- ・地元企業への訪問研修
- ・企業から講師を招いての出前研修
- ・グローバル研修
- ・4学科全8コースによる企画研究・課題研究発表会、など

マイスター・ハイスクール事業によるこうした取り組みは、学校と地元企業との連携をより強固なものにし、生徒の地域社会への理解を深める上でも有効であると考えます。

以上のことから、「地域の課題と地元企業の価値を理解し、地域産業を担う人の資質を高める」ことを目的として、マイスター・ハイスクール事業の事業年度終了後における承継発展体制として、「坂井高校マイスターコンソーシアム」の設立を提案いたします。

令和 年 月 日

福井県立坂井高等学校	校長	内藤俊治
マイスター・ハイスクール	CEO	三村友男
マイスター・ハイスクールプロデューサー		南 良一

Consortium 概要

設立趣意：〇マイスター事業の継承発展（地域の課題と地元企業の価値を理解した、地域産業を担う人材の育成さらにその資質を高める）

〇地域産業の持続的な発展のために職業教育の在り方を模索する

方法：職業教育を学校と企業が担う。自治体にサポートをお願いする。

内容：

- ① 学校、企業、PTA、生徒代表による運営会議を学期に1度実施する。
（マイスター事業の運営推進委員会にあたる）
- ② 「ふくいの産業」の授業（1年か2年の1単位）を学校と企業で創る。
モデル：〈県作成の Library の視聴、連動した生徒による探究活動、疑問点に関して他のコースの先生方によるミニレクチャー、企業の方による講義、グループワークまたは企業見学、振り返り〉
（6コマ～7コマ）
- ③ 各コース2年生は企業訪問研修を行う。（Consortium 賛同企業を中心として訪問）
- ④ 各コース1年生に企業出前研修を行う。（Consortium 賛同企業へのお願い）
- ⑤ 意欲のある生徒に、ふくいの産業の先進的な課題研究として企業派遣
（夏季休暇を利用して、Consortium 賛同企業へ依頼）
- ⑥ コースの要望を受けて学校への企業招聘（ふくいの産業の生きた教材の提供を受ける）
- ⑦ 企業からの課題提起（実社会への貢献）
- ⑧ カリキュラム開発（運営会議の中で話し合う）

育てたい人間像

- 福井の産業への関心をもった、仕事への意欲の高い、考える力の持った生徒
* 学校と企業、自治体がお互い満足する関係。すなわち、企業の魅力を教育に提供していただく中で、生徒がふくいの魅力を感じ、知り、卒業後は企業に入り、貢献していく。就職におけるミスマッチの減少とともに、地域の発展につながる。
- 生徒(企業人)が well-being になること
（知ること、経験すること、生きた現場から考えること）
 - (1) 生徒の産業への知識、理解、課題の把握による、職業人としての資質の向上
 - (2) 地元の企業の価値と地域への貢献を知ること = 地元地域への愛着の醸成
 - (3) 地域に貢献することによる、co-agency の達成 = well-being